

2023年9月27日発行（通算第111号）

連絡先 〒145-0061 大田区石川町1-26-8

発行 呑川の会 代表 高橋 光夫

呑川の会 e-mail: [mitsuo.takahashi@nifty.com](mailto:mitsuo.takahashi@nifty.com)

呑川の会 HP <http://home.m00.itscom.net/nomigawa/>

高橋会員 HP <http://homepage2.nifty.com/aoiyume/>

# の み が わ



## 太平橋～山野橋間護岸・犬走り部清掃工事の報告

記:松本 秀雄

令和5年7月4日(火)左岸側、5日(水)右岸側を実施

呑川の環境改善の目玉である呑川中流部での「一時貯留施設が完成するまでの対策の一つとして」  
霊山橋～双流橋間(1,120m)では、毎年犬走り部に堆積している汚泥の吸引回収(産廃量約100t)  
が行われています。しかし、双流橋下流に関してはスカムや悪臭の発生も多く地域住民の要望が多い  
にもかかわらず、犬走部の露出が大潮時の1時間程度しかないため定期的には行われていなかった。

今回、太平橋～山野橋の約100m区間で、護岸部のジェット洗浄と犬走り部堆積汚泥の吸引回収作業が行  
なわれた(写真1:左岸側、写真2:右岸側)。大型車両は左岸側道路を一時通行止めにして配置実行した。



写真1: 護岸部のジェット洗浄(左岸側)

写真2: 犬走り部堆積汚泥の吸引回収(右岸側)

ジェット洗浄後に犬走り部の堆積汚泥の吸引回収を行った。ただ、犬走部は完全露出しておらず(4日大潮5  
日中潮)期待する程回収できなかった。今後は水中下でのより効果的な汚泥回収工法が望まれます。

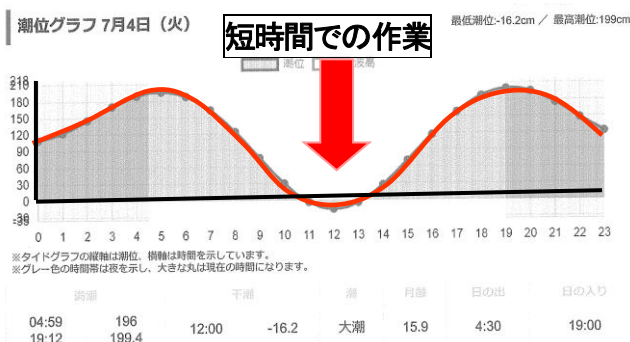


図1:7月4日の潮位グラフ

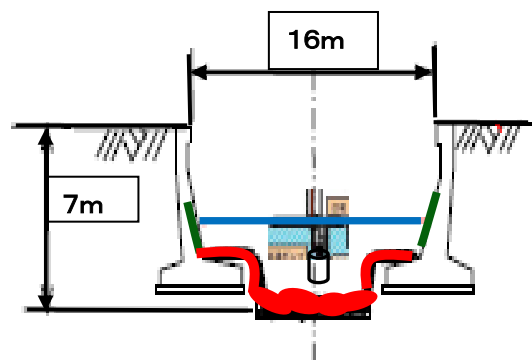


図2:河床面模式図

# 呑川流域中流部合流改善工事見学会の報告

( - 立坑設置工事見学 - 2023年07月26日(水))

記:南 弘元

呑川流域中流部合流改善施設整備事業の工事現場(南雪谷:東調布公園内)を見学してきました。今回の見学会は、呑川流域ネットワーク協議会の企画によるもので、全員で7名の方々が参加しました。この工事の目的は、雨天時に合流式下水道から呑川へ放流される汚濁負荷量を削減するため、降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設(深さ約24~33mに容量38,000m<sup>3</sup>の貯留管)を設置するものです。

・工事計画(令5年5月時点):貯留管x3系統、取水位置20ヶ所、取水開始は令14年度頃を予定しています。

①右岸上流 2.4mφ x約2km、②左岸・右岸 3mφ x約 3.3km、③左岸上流 2.4mφ x約 850m を設置する。この合流改善施設整備事業が計画通りに進み、1日でも早くきれいな呑川になっていくことを願うものです。今回の見学会時は、貯留管を設置するための立坑設置前準備作業(土留用鋼矢板打込み)を防音ハウス内で行っているところでしたが、9月末には、土留用鋼矢板 154 枚の打込み作業は完了とのこと。その後、貯留管を設置するための「立坑(たて穴)設置工事」が本格的に始まります。コンクリート製の立坑は、深さ約35m 外径15m(厚み 1.5m)と可成り大きなものです。(立坑設置工事は、2025 年 3 月末完了の予定)



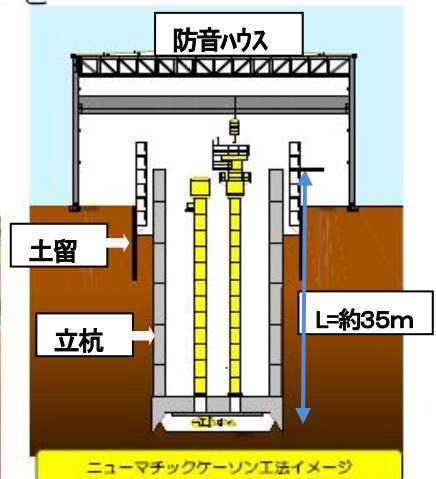
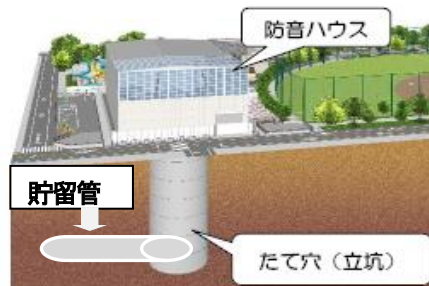
土留工事風景(鋼矢板打込み作業開始段階)



土留用鋼矢板(深さ9m x 154枚)の打込み

## 5.立坑設置工事 概要

- ・内容 貯留管(トンネル)を整備するためのたて穴(立坑)を東調布公園内の作業用地に設置する。
- ・工期 令和4年3月4日~令和6年3月14日(予定)
- ・概要 立坑(ニューマチックケーソン工法、内径12m、外径15m、深さ約35m) 1箇所  
防音ハウス 一式



立坑設置工事概要(出典:大田区説明資料@令4年6月より抜粋)

# —呑川中流域ウォークのご案内—

## 呑川支流から堤方橋・太平橋まで

記:橋本 文興

地図:寄立 美江子

小学校呑川学習支援の参考には是非ご参加下さい。「わたしたちの都市河川 呑川」本 27p～29p 参照

\*日時集合場所:10月7日(土)、東急池上線・御嶽山駅 改札出口 10時

\*散策:約3km、解散:堤方橋・太平橋

\*雨天時:翌日8日(日) 連絡先:090-2654-4144 橋本

\*コース:御嶽山駅→水神流れ→東調布公園→谷中橋→池上橋→養源寺橋→堤方橋→太平橋  
(コースの概要)

呑川右岸の雪谷地区で一番高い尾根を通る池上線の沿線からは、2本の支流があります(下図ご参照)。

今回御嶽山駅と雪谷大塚駅の間(南雪谷四丁目16番地)からの流れ(水路跡)を辿ります(標高差約10m)。

① この流れは、昔から雪谷と嶺町地区の村の境となっている細い流れ跡で、湧水が今でも見られます。「水神の森」に2014年オープンした「水神公園」の横を流れ、洗い場復元からの流れと、次の四つ角で対面するJR線側丘からの流れが合流していました。そこから緑豊かな「東調布公園」の水遊びができる復元水路を通り「水神橋」下で呑川に流入しています。また、② JR・新幹線の南側の丘にある雪谷高校・松仙小学校の脇からも、線路に沿って湧水の流れが呑川に注いでいました。そして、この地区は左岸の荏原台からも多くの湧水の流れ跡が四角いコンクリートの穴埋めで見られます。



東調布公園には現在、「合流改善工事の立て坑工事」を施工しています。(バス通り側には工事説明のサインが設置されています)

呑川は新幹線ガードをすぎると河床には「ツルヨシ」ほか植物(自然河床)がみられます。また高架下にはユスリカ捕捉施設が右岸、左岸共設置されています。(呑川には全8ヶ所設置)

本村橋左岸には洗足流れの落とし口が見られます。道々橋下流からは、自然河床として転石が配置されています。八幡橋下流(久が原二丁目広場)から仲之橋間の河床は玉石です。緩いカーブで水深も50cm～100cmと深くなっています。久が原地区の主な支流は、西部八幡からの流れ(仲之橋)、ヤナギ交番の流れ(北の橋)ヒルズ久が原からの流れ(鶴林橋)が右岸に見られます。

池上橋からは潮の満ち引きの影響を受ける感潮域です。また、河床の形状が変わり中央部が深くなります。なお、水神橋から下流域の「左岸、右岸の主要施設の参考説明資料」は、ウォーク当日に別途配布致します。

# —秋の都市河川ウォークのご案内—

記: 森 巖

## 目黒川(有名な桜並木の紅葉巡り)

長さ約8kmの目黒川、品川区大崎駅から目黒区中目黒駅にかけての中流域を4km程、有名な桜並木に沿って歩きます。呑川と比較されることも多い2級河川ですが、「汚れた川」、「少しいれになった川」、など耳にします。目黒川の「今」を、実際に歩いて実体験してみましょう。昼食後、「川の専門スタッフ」による目黒川の解説をしていただく予定です。

集合: (日時):11月18日(土) 9時40分予定、(場所):JR山手線、大崎駅、東口改札出口

散策: 歩程 約4km、(会費:500円)

解散: 東急東横線、中目黒駅、15時予定

天候: 午後から小雨予報は決行(午前雨は中止)、雨天時は、25日(土)に延期

連絡先: 白石(090-7568-7275)、森(070-2361-0167)

コース: 大崎駅—御成橋(10時から下水処理再生水による噴射見学)—五反田ふれあい水辺広場—五反田大橋(都営浅草線排水口)—荏原調整池(外観)—太鼓橋—目黒区民センター公園—**(昼食・トイレ)**—中目黒公園(花とみどりの学習館で目黒川解説、質疑・**トイレ**)—中目黒駅



呑川沿い「池上橋～久根橋」間の公園6ヶ所に健康遊具が設置されました(図1:公園広場の案内板参照)。これは、大田区公園課が計画し、都市基盤整備部第三課が工事管理をされて本年度に設置されたものです。健康遊具が設置された公園名称は、「いきいき健康公園 仲池上・久が原地区コース」と掲示されています。

大田区民の健康増進を目的に健康遊具が呑川の6ヶ所の公園・広場に設置され、掲示版には池上橋から久根橋の散歩コース 2.4km についての説明(距離、歩数、消費カロリーなど)があります。また、ウォーキングの注意事項も記されています。けやき広場には、「図2:おすすめストレッチ」の掲示も設けられています。

今まで比較的規模の大きい公園・広場(本門寺公園等)に健康遊具が設置されているのは見ましたが、小規模公園・広場の分散配置で体験する健康遊具は、新しい試みです。同様の健康遊具は、大田区内では昨年鶯の木地区に設置が完成し、今後は大森地区でも計画があるそうです。

7種類の健康遊具を体験するには、呑川(池上橋～久根橋)の右岸3カ所、左岸3カ所を巡ることになります。

- \*遊具の種類は ①踏み板ストレッチ、②上体伸ばし、③コマ落とし、④ブラブラストレッチ  
⑤腹筋ベンチ、⑥背伸ばしベンチ、⑦鞍馬ベンチ、です。



図1: 公園広場の案内板、□印6ヶ所

図2:おすすめストレッチ(けやき広場のみ掲示)



②上体伸ばし・踏み板



⑥背伸ばしベンチ



⑦鞍馬(あんば)ベンチ

各健康遊具には QR コードにて活用方法が動画で見られる仕組みになっています。

公園広場の場所によっては、3種類の健康遊具が設置されています。私は日々呑川沿いを歩くだけの運動が主ですが、今後は健康遊具を使ってみたくなりました。

\*問い合わせ先 : 大田区公園課 03-6715-1824 公園管理担当(萩中分室)

# 呑川周辺の鳥・レポート「2023年秋～」

記：田代 勝行

呑川周辺(秋口～)で散歩中にみられた鳥たちです。……………< 参考資料、出典:ウィキペディアより>



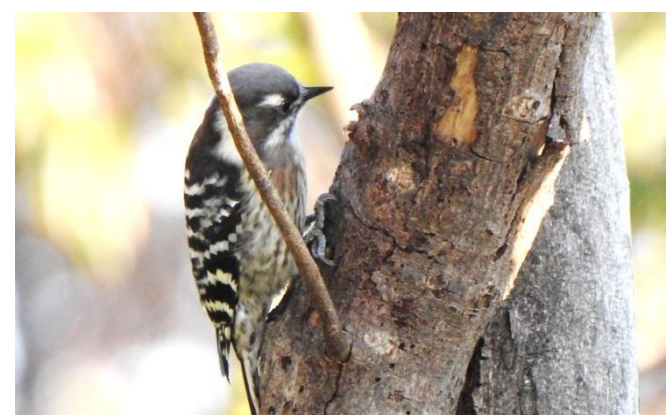
① .イソヒヨドリ(オス):21-10-27 072:養源寺付近  
スズメ目ヒタキ科:外見がヒヨドリに似ている事からこの和名がついているが鳥類学上はヒタキ科です。



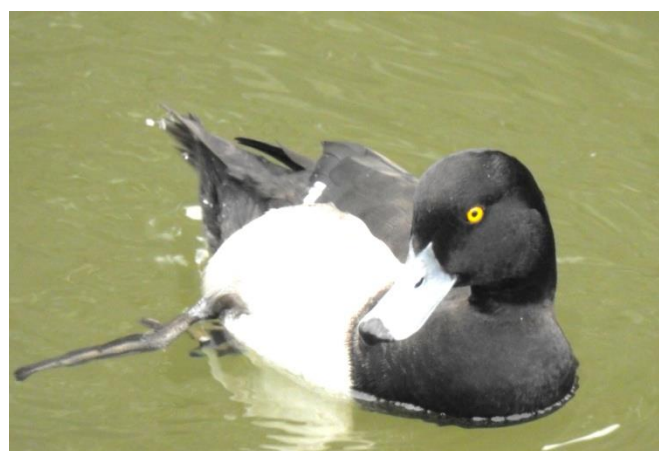
②.イソヒヨドリ(メス):21-01-31 057:双流橋付近  
スズメ目ヒタキ科:イソヒヨドリのメスは全身が灰色をしており、ヒヨドリと見た目が少し似ています。



③. エナガ :19-11-5 015:本門寺五重塔付近  
エナガ科エナガ属:全長 14cm に対し尾が 7 - 8cm なので柄の長い柄杓に例えたことに由来する。



④.コゲラ:18-10-29-1 009:本門寺日連像付近  
キツツキ目キツツキ科:英名は“Japanese Pygmy Woodpecker”で、日本にいる小さなキツツキの意。



⑤. キンクロハジロ(金黒羽白:20-11-07 日連橋付近  
カモ目カモ科ハジロ属:越冬のため飛来(冬鳥)食性は雑食。水面を動き回って獲物を探し潜水し捕食



⑥.キンクロハジロ:21-11-04 :日連橋付近  
カモ目カモ科ハジロ属:繁殖期のオスは後頭の羽毛が伸長し(冠羽)、頭部の羽毛は紫色の光沢がある。

# 新入会員の自己紹介記です。

## ☆1: 「萩原 絹代」さん (2023年5月ご入会)



台風が来て、大雨が降って呑川がある \_\_\_\_\_。

久が原から呑川を渡って通学していました。授業中に、ウキウキしていた大森第十中学校時代。…あれから、呑川がきれいになって、魚が泳いで、青サギガモ、いろいろな鳥が飛来してきて、私たちの心をなごませてくれています。

何も解らない私ですが、皆様から色々ご指導頂き、少しでも「お力に」なれたらと思っております。宜しくお願い致します。

(呑川の会の鯉のぼり一式等を自宅借家倉庫に厚意で保管してくれています)

## ☆2: 「寺田かずとも」さん (2023年6月ご入会)



この度、入会致しました「寺田かずとも」です。普段は英会話の講師として、仲間と一緒に子供達を支援するボランティア活動をしています。

学生時代にはドイツのフライブルグで、酸性雨による森林・河川の破壊、飲み水となる地下水の汚染の影響など、環境保全について学びました。

呑川の会の地域活動は、2030年を目標として国連総会で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の一つである「陸の豊かさを守ろう(15番目)」への取り組みの一環として大田区内でも注目されています。環境保全活動を行う呑川の会の一員として少しでもお役に立てればと思います。また、大田区議会議員として議会での質疑応答の参考とさせて頂きたく、色々教えて頂ければと思います。

## ☆3: 「藤原 弘和」さん (2023年6月ご入会)



蒲田に引っ越してきて7年になります。2021年の夏に悪臭漂う謎の黒い物体(スカム)の浮かぶ、到底川とは思えない呑川を見て興味を持ち調べるようになりました。タイミング良く「わたしたちの都市河川 呑川」が発刊され、ますます呑川のことを知りたくなりこのたび入会いたしました。大学では土木工学を専攻しておりましたので、当時学んだことを思い出しながら日々呑川を眺めています。皆さんと一緒に活動することで、蛍の明滅するきれいな呑川に戻していくことができたらと思います。きれいな水辺があればビールが美味しく飲めることでしょう。よろしくお願いたします。

## ☆4: 「アベ ケイスケ」さん (2023年6月ご入会)



三重県出身。Baobab design Companyとしてデザインと動画配信を両輪に活動中。2018年動画配信スタジオ「堤方4306(大田区池上)」スタート。2020年ノミガワスタジオ(シェア型本屋+etc...)の立ち上げ、運営に参画と共に同スタジオ内に事務所を移転。業務の傍「半径2kmのリビング化」を目指しコツコツ活動中。本屋の棚主や、周辺在住の作家、地域の店舗と協業しながら「発見と接点づくり」や「楽しいムードづくり」に励んでいる。呑川の好きなのは、鳥の表情や汽水域の満潮干潮、夕日の当たった水面です。主な観測エリアは、道々橋～堤方橋。趣味は、楽器演奏です。

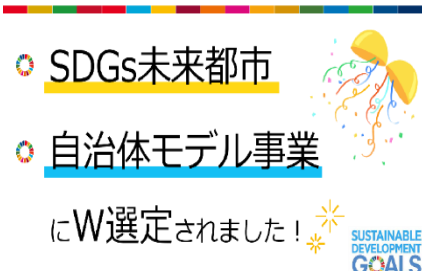

# 「呑川の会」当面の活動日程

記：高橋 光夫

\*「会場確保」のため変更することがあります。担当者からのメール連絡にご注意ください。

<p>「呑川の会・定例会」 2023/10/21(土)13:30～16:00 「ふれあいはずぬま」第5集会室</p> <hr/> <p>*年内の「定例会」は、この他に11/16(木)、12/16(土)を予定しています。</p>	<p>「会報 のみがわ」印刷・発送 2023/9/27(水)13:30～ 「こらぼ大森」作業室</p> <hr/> <p>*「会報」の印刷・発送作業をみんなで 行います。</p>
<p>「呑川ネット定例会」 2023/10/19(木)10:00～ 「消費生活センター」調理室</p>	<p>「池上小学校」呑川学習 2023/9/22 10:30～体育館 呑川ウォーク事前学習 *「呑川ウォーク」は10月～11月予定。</p>
<p>「久原小学校」呑川ウォーク 2023/10/17 8:30～</p> <hr/> <p>*「呑川ウォーク」雨天日代替え日は、10/20(金)、10/24(火)を予定しています。</p>	<p>「雪谷小学校」呑川ウォーク 2023/10/16 10:40～(事前学習) 2023/10/27 8:30～ウォーク実施</p> <hr/> <p>*「ウォーク」雨天代替え日は10/31(火)を予定。</p>
<p>「洗足池小学校・呑川学習」 事前学習 2023/11/6(木) 生徒発表会 2023/12/7(木)</p>	<p>「呑川・中流ウォーク」 2023/10/7(土)10:00～、池上線御嶽山駅集合 *小学生の中流域ウォークが増えていますので会員の 皆さんの事前学習を兼ねて行います。</p>
<p>秋の都市河川ウォーク(目黒川) 2023/11/18(土) 「雨天代替え日」は11/25(土)を予定。</p>	<p>「雪谷文化センターまつり」 2023/10/14(土) 10:30～20:00 2023/10/15(日) 10:00～16:00</p>

(\*特報) 10/17に、「呑川の会」も応募した「自然保護大賞」の可否発表が行われます。

 <p>SDGs未来都市 自治体モデル事業 にW選定されました!</p>	<p>2050年 に 向けた 3つのゼロ</p>	<p>「持続可能な未来都市」を実現するために!</p> 
---	--------------------------------------	--

(編集後記) .....(記:松本秀雄)

大田区は、2023年度の「SDGs 未来都市」と「自治体 SDGs モデル事業」にも選定され、2030年のあるべき姿の実現に向けた計画書を策定中です。... 次世代を担う人材育成にも積極的に取り組もうとしています。呑川の会では、10月以降、久原小・雪谷小・池上小・洗足池小各校の要請による呑川学習支援を行う予定です。各校では総合学習の一環として、「呑川の植物、生き物(魚、鳥、昆)、水質・水害、環境・生活」など多岐にわたる分野の学習を行っています。このため、呑川の会では、10月7日(土)、呑川学習支援の事前ガイド用「呑川中流域ウォーク」を計画しています(ガイド資料は当日配布)。この機会に皆さん是非振ってご参加下さい。